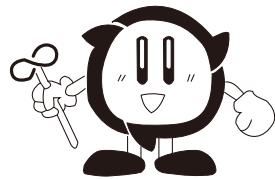




仙台市リサイクル  
シンボルマーク  
「メビウスちゃん」



- 編集・発行 仙台市環境局廃棄物管理課
- 電話 214-8227

|                         |      |
|-------------------------|------|
| こんにちは推進員さん              | 1P   |
| 研修レポート「排出実態調査報告会 & 交流会」 | 2P   |
| 仙台市環境局からのお知らせ           | 3~4P |
| メビウスちゃんの豆知識             | 4P   |

「かいちょうのひとりごと」

昨年4月には、新たな取り組みも開始。まずは「見える」取り組みで、

「かいちょうのひとりごと」

安養寺一丁目三号公園に夜間照明がつけました  
宮城野区の公園にかつてよりお楽しみしておりましたが、6月25日停電の灯りがとまりました。  
しかし、階段の方では灯りが届きにくい状況の様なので夜間の階段の上り下りには注意が必要です。  
(照明の改修はまだ未実施です)

ごみ集積所3ヶ所が「五つ星集積所」に認定されました  
先の回覧にて、認定のみの調査が環境事業所の職員にて行われる旨お知らせしましたが、みごとエントリした全ての集積所が認定されました。  
7月10日、宮城野区文化センターにてグリーン仙台推進員の会議が有りましたが、多くの推進員がいる中で、環境事業所の所長さんより直々に認定書を戴いてきました。会員の皆さんごみ分別に関する意識の高さに感謝します。

▲月1回発行する「かいちょうのひとりごと」(抜粋)

こんにちは推進員さん  
【宮城野区】安養寺上町内会  
地域みんなで目指す「ごみゼロ」

安養寺上町内会の全集積所には、町内会長も兼務する推進員の鈴木克美さんお手製の掲示板が設置してあります。他の町内会の集積所を見て歩き、良いと思った点を参考に作成したことで、設置場所ごとに見やすく工夫されています。

鈴木さんは「集積所は誰でも必ず使つもの。掲示板を作つてごみ出しに関する情報発信場所にしたなら、皆さんの目に留まると思つたんですよ」と、きつかけを話します。そして掲示板は作りっぱなしにせず、定期的な交換したり、破損してないか見回ったりするなど、メンテナンスを心掛けているそうです。



と「ひとりごと」を発行しました。タイトルは「見たい人が見てくれたら」との考えでつけたもので、多くの回覧物の最後に挟み込んでいます。この控えめさに好感を持ってもらえるように、毎月楽しみにしてくれている方が増えているんだとか。

次に「聞かせる」取り組み。町内会や地域の行事など、多くの人が集まる機会を見つけては、分別方法などのごみの話をしています。

最後に一週間交代の清掃当番に「参加してもらおう」取り組み。高齢や持病があるなど、当番が難しい事情がある場合は免除して、地域の方に配慮することが、理解を得る秘訣だそうです。こうした鈴木さんの取り組みに一貫するのが「地域の方への思いやり」。重荷にならないように、無理強いないようにとの心配りが取り組みの一つ一つに伺えます。鈴木さんは「ねぎらいの言葉をかけていただいたり、活動に協力してもらえようになりました。排出ルールも良くなりましたよ」とこやかに話す鈴木さんに、地域での活動に大切なことを教えていただきました。

平成27年度クリーン仙台推進員事業計画

| 主な行事           | 実施時期    | 備考       |
|----------------|---------|----------|
| 委嘱式・表彰式        | 7月      |          |
| ごみ分別研修会        | 8月~9月   | 区ごとに開催   |
| グループ学習会「初心者研修」 | 10月     | 2日間・2コース |
| ごみ集積所排出実態調査    | 10月     |          |
| グループ学習会「広報編」   | 1月      |          |
| 排出実態調査報告会      | 2~3月    | 区ごとに開催   |
| 活動報告書の提出       | 3月      |          |
| 仙台メビウス通信の発行    | 9・12・3月 |          |

各行事は、郵送にてご案内いたします。

※実施時期・内容は変更する場合があります。

※「仙台メビウス通信」は推進員・メイト・町内会長に送付しています。また、行事はすべて推進員を対象としています。ただし、「ごみ集積所排出実態調査」実施の際はメイト・町内の方々もご協力いただければ幸いです。(案内は推進員に送付します)

環境局の職員が、プロの目で集積所の状況を診断する「ワケルくんの五つ星集積所診断」を、今年度も実施します。診断結果は「診断書」として町内会にお渡しするほか、優秀な成績を上げたごみ集積所を「五つ星集積所」として認定し、オリジナル認定証(左下)を贈呈します。奮ってご応募ください。

- ・募集期間 6月1日(月)~11月30日(月)
- ・募集件数 各区先着10町内会  
1町内会あたり3ヵ所まで

※管理会社(管理人)が管理する共同住宅の集積所を除く



申：お住まいの区の環境事業所(3頁を参照)  
問：廃棄物管理課

▲「五つ星集積所」の認定証

メビウスちゃんの豆知識

Q. 化粧品のびんって、前は「家庭ごみ」の日に出していたけど、どうして「缶・びん・ペットボトル・廃乾電池類」の日に出せるようになったの?

A. 平成24年4月から、仙台市ではリサイクル可能なびんとして化粧品のびんを回収するようになったんだよ。

昔の化粧品のびんは耐熱ガラスや乳白色のガラスなど、素材がさまざまで、飲み物のびんと一緒にリサイクルすることができなかったんだ。

でも、化粧品メーカーさんの努力のおかげで、今では化粧品のびんのほとんどが飲み物のびんと同じ素材でつくられるようになったから、資源として回収できるようになったんだよ。みんなも化粧品のびんのリサイクルにぜひ協力してね!







❖「ごみの分け方・出し方」出前講座

知っているつもりでも、実は間違えて覚えているかもしれないごみの分別。環境事業所では、職員がごみの分け方・出し方を地域にお伺いして説明する出前講座を実施しています。楽しく分別を覚えらるるゲーム等も用意していますので、ぜひご活用ください。

問：お住まいの区の環境事業所  
(電話番号は下記参照)

❖ダンボール式生ごみリサイクル出前講座

家庭ごみの約32%を占める生ごみ。その減量のコツや、ダンボールなどで堆肥として資源化する方法を地域に講師が出向いて説明します。

- 対象＝おおむね10人以上の参加が見込まれる町内会等の地域団体（申込受付数には制限があります〔先着〕）
- 実施期間＝9月30日（水）まで
- 無料で利用できますが、会場は申込団体でご準備ください（所要時間は2時間程度）
- 受講者のうち、市内にお住まいで、ダンボール式生ごみリサイクルに取り組み、後日送付するアンケートにご協力いただける方に、モニターセットを差し上げます。

申：ごみ減量推進課 電話214-8229  
※7月1日（水）午前9時から

❖3R講師派遣

アメニティ・せんだい推進協議会では、ごみ減量・リサイクルを楽しく学ぶための研修に講師を無料で派遣しています。

古布や牛乳パックを利用した手工芸品作りや生ごみ堆肥を使った野菜作り、ごみを出さない料理教室など、たくさんのメニューを用意していますので、ぜひご利用ください。

詳しくは、同封のチラシ「3R講師派遣事業」をご覧ください。

問：ごみ減量推進課 電話214-8230



◆「伊達な節電所キャンペーン」に参加しませんか

「ご家庭や事業所で昨年同時期に比べて削減した「電気使用量」や太陽光発電などによる「売電量」を投稿する「伊達な節電所キャンペーン」を実施中です。

電力会社から届く「電気ご使用量のお知らせ」や「購入電力量の

お知らせ」を用い、郵送またはEメールなどで応募ください。  
「ご家庭部門では、毎月抽選で10名に「コカ・コーラ社製品をプレゼント」します。さらに、節電家電やアイリス生鮮米などが当たる期間賞のダブルチャンスもあります。  
また、効果的な節電方法をお寄せいただく「節電知患袋」、節電のノウハウを伝える「節電川柳」も併せて募集しています。  
応募方法などの詳細は、市役所1

階「市民のへや」、各区役所、総合支所などで配布するチラシまたは仙台市環境ウェブサイトを「だまぎと」(http://www.watanaki3.jp/)をご覧ください。  
問：環境共生課214-0007



環境事業所の電話番号

|          |          |
|----------|----------|
| 青葉環境事業所  | 277-5300 |
| 宮城野環境事業所 | 236-5300 |
| 若林環境事業所  | 289-2051 |
| 太白環境事業所  | 248-5300 |
| 泉環境事業所   | 773-5300 |

研修レポート  
排出実態調査  
報告会&交流会

昨年10月に、推進員の皆さんにご活躍いただくために、「ご自分の地域のごみの出し方の実態を知るきっかけとなる」、「ごみ集積所排出実態調査」を実施しました。  
その調査結果の報告会を、2月から3月にかけて区ごとに実施し、青葉区32名、宮城野区28名、若林区52名、太白区41名、泉区29名（合計182名）の皆さんに参加いただきました。

報告会では、排出実態調査の結果や区の傾向をスライドを交えながら説明。その後には交流会として、特定のテーマについて話し合ったり、クイズで盛り上がり、中には体験学習を行ったところも。区の環境事業所により交流会の内容はさまざまでしたが、どの区でも和やかな交流が見受けられ、他の地域の人の話を聞くことで自分

の地域の悩みを解決するヒントを得られたようでした。  
また、出席者の中には排出実態調査に参加していない方もいらっしやいましたが、実際に調査を体験した推進員の熱心なお話に聞き入り、「次回は自分の町内会でも調査に取り組みたい」という頼もしいお言葉をいただきました。



◀太白区の報告会の様子

▶若林区では、交流会の中で、ハンサムネットの模型づくりを体験しました

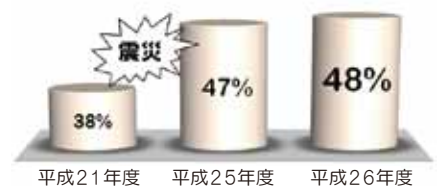


続・緊急分別宣言!!

その袋の半分、資源です。

キャンペーンのお知らせ

昨年は家庭ごみに含まれる資源物の割合が増加していることを受け、「緊急分別宣言！」としてごみの減量・分別キャンペーンを実施しました。皆様のご協力で、資源物の混入率は平成26年度後半は改善しましたが、通年でみると、平成25年度よりもさらに上昇しています。



そこで今年度も6月から、「続・緊急分別宣言！」キャンペーンを実施し、「分別の大切さ」を再度呼び掛けることとしました。

併せて、集会所や商店など、地域の方が集まる場所へ掲示するためのポスター（左図）を作成いたしました。見掛けの際には地域の皆さんにご紹介いただき、ごみの現状をお知らせするとともに、分別行動を働き掛けていただく際のきっかけにいただければ幸いです。

（なお、今回は集積所等への掲示は予定していないため、ポスターの在庫はございませんのでご了承ください。集積所用のポスターは、例年通り秋の作成・発送を予定しています。）



問：ごみ減量推進課 214-8230